

ぐるり30

～自治調査会だより～

2016
7

NO. 034

[発行日]
2016.7.1



【写真提供】神津島村 【撮影場所】赤崎遊歩道

- ▶ 平成 27 年度 調査研究報告書の紹介
「食育に関する調査研究～食が育む豊かな社会～報告書」… 2
- ▶ 東京愛らんどフェア「島じまん 2016」が開催されました… 3
- ▶ オール東京 62 市区町村共同事業
 - ・みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介… 4
 - あきる野市 自然環境調査事業
 - 西東京市 環境フェスティバル
 - 小笠原村 自然環境に配慮した遊歩道補修整備事業
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・平成 28 年度 広域的市民ネットワーク活動支援制度申請団体募集… 5
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座
 - 多摩発・遠隔生涯学習講座にご参加ください… 6
 - 7・8 月開催予定の講座案内… 8
 - ・東京雑学大学 8 月講義案内… 8
- ▶ 編集後記… 9
- ▶ とっておきスポット～“ココ”ご存じですか？～神津島村… 10

Contents

7月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

平成27年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.32)で概要を紹介した平成27年度の調査研究報告書のうち、5件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今月号では、「食育に関する調査研究～食が育む豊かな社会～報告書」を紹介します。本報告書は、当調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) からダウンロードできます。

<食育に関する調査研究～食が育む豊かな社会～報告書>

1 背景・目的

食は人の活動の基礎となるものであり、教育・産業・環境等の行政課題とも深い関連性があります。そのため、食育を切り口に多面的な視点から事業を展開できる可能性があります。本調査研究は、「ライフステージに応じた食育」と「持続可能な社会・地域づくりに向けた食育」の2つの観点から食育事業の手法等を提示することを目的として実施しました。



2 多摩・島しょ地域における食育の現状

- ・市町村事業の対象ライフステージは、乳幼児期・義務教育期が多く、青年期は少ない
- ・市町村事業が実施される施策分野は、健康・教育などが多く、環境などは少ない
- ・住民のうち、男性より女性のほうが食育への関心は高いが、30～40代女性は「関心はあるが取り組んでいない」の割合が約6割と比較的高い（有効なターゲット）

3 食育事業の手法等

① ライフステージに応じた食育事業の方向性

- ・乳幼児期には、体験を通じて食に対する感性や興味・関心を育む
- ・義務教育期には、食に対して能動的に取り組む習慣を育む（保護者にもアプローチ）
- ・青年期及び成人期には、ニーズに合致し、効果を予期できるようなツール等を活用する
- ・高齢期には、食の知識や食文化を継承する担い手として社会参画を促す

② 持続可能な社会・地域づくりに向けた食育事業の方向性

- ・「生産」「加工」「流通」「消費」「廃棄」という食のライフサイクルに着目
- ・「健康福祉」「産業」「環境」など多分野で「地産地消」など共通の課題に取り組む

③ ワークショップによる食育事業の実践と検証

- ・対象は「食育に関心はあるが具体的に何を行えばよいか分からない」30～40代女性
- ・題材は「家族へのお弁当づくり」
- ・内容は講師による講話、「お弁当カード」を使用した実習など
- ・「地産地消」「食品ロス」など当初関心の低かったテーマについても意識が変容

【ライフステージ・ライフサイクルに応じた食育事業の例】

ライフステージ	乳幼児期	義務教育期	青年期	成人期	高齢期
具体的な食育事業例	お団子作り体験	学校給食で味わう力の育成	外食のヘルシーメニュー事業	お弁当作り体験	地域の共食イベントで栄養指導
食のライフサイクル	生産	加工	流通	消費	廃棄
具体的な食育事業例	【産業振興・教育】地域の農家で収穫体験	【産業振興・文化振興】地域の食品加工場の見学	【産業振興】スーパー・小売店へ地場産品PRの働きかけ	【健康福祉】生活習慣病予防の調理実習体験 【産業振興】飲食店で地場産食材を使ったメニューの提供	【環境】食材の無駄を減らすための調理実習体験

※赤囲みが本調査研究で実施したワークショップの対象



開催されました

「港でぐるり。東京の島めぐり。」と銘打った「東京愛らんどフェア『島じまん2016』」が、5月28日(土)・29日(日)の2日間、港区にある竹芝栈橋・竹芝客船ターミナルで開催されました。

「島じまん」とは、2年に一度開催される、東京の島々の特産品の販売や特設ステージでの郷土芸能の披露など企画が盛りだくさんの伊豆諸島・小笠原諸島の魅力発信イベントです。

各島のブースでは、各島の食材を使用したご当地料理の提供や特産品の展示・販売が行われ、これらを求める多くの人々の行列ができていました。この『島じまん2016』のためにスタッフが開発したという、数量限定の美味しそうな「島のジュエリースイーツ」も販売されていました。

さらに、多摩地域の特産品や、東日本大震災の復興応援として福島県の特産品の販売等もあり、こちらも大人気でした。



▲ 特産品の展示・販売等が行われたブース

会場内に設置された特設ステージでは、2日間途切れることなく、各島の伝統的な踊りなどの郷土芸能の披露や、東京海洋大学名誉博士／客員准教授である「さかなクン」による世界一受けたいお魚授業などが催されました。

郷土芸能の披露では、太鼓のリズムや演舞者のパフォーマンスなどでステージと観客が一体となって盛り上がりました。「さかなクン」の授業では、「さかなク

ン」が描いたイラストを使って、島の魚の名前を当てるクイズをしたり、参加者からの質問をわかりやすく解説したりと、観客を楽しませていました。



▲ 特設ステージでの郷土芸能の披露

他にも、伊豆諸島と多摩地域から直送された温泉水を楽しむ足湯コーナーや、各島の伝統工芸体験、会場内をまわるアンケートシールラリー、伊豆諸島の砂を使って絵を描くことに挑戦するサンドアート、最先端ロボット「パルミー」がおすすめの東京の島を診断してくれる「パルミーの島診断」などの体験型のイベントもありました。

また、「年齢、技巧に捉われずに、島の魅力を表現する」という審査基準で行われた「ぬり絵コンテスト」の入賞作品も会場に掲示され、たくさんの方が作品に見入っていました。



▲ 「ぬり絵コンテスト」入賞作品掲示コーナーの様子

天候にも恵まれ、2日間で延べ10万人を超える方々が来場し、島の魅力を伝えるために開催された『島じまん2016』は、大盛況の中で幕を閉じました。

皆さんは、東京島しょ地域には9町村あり、一般住民が住む有人島は、11島あることをご存じでしょうか。東京から各島へのアクセスは、竹芝栈橋発の船便や航空便(一部の島にはなし)があります。

それぞれの島の魅力をもっと間近で味わうために、是非、東京の島へ行ってみませんか。



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本プロジェクトの助成金を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施されている事業を紹介します。

かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



シーナ



1 あきる野市

自然環境調査事業

あきる野市では、市の長である豊かな生物多様性の保全と活用に向け、生物多様性の現状を把握するための「自然環境調査事業」を実施しています。自然環境調査は、あきる野市の自然環境に造詣の深い市民の皆さんで組織する「自然環境調査部会」により行われ、毎年度、貴重な動植物の生息・生育状況などが報告されています。

こうした調査結果は、「自然環境調査報告書」としてまとめられ、あきる野市の生物多様性に関する施策の基礎資料になるとともに、市民向けのリーフレット「知って守ろうあきる野の自然」の発行にもつながっています。

【問合せ先】あきる野市環境政策課 TEL:042-595-1110



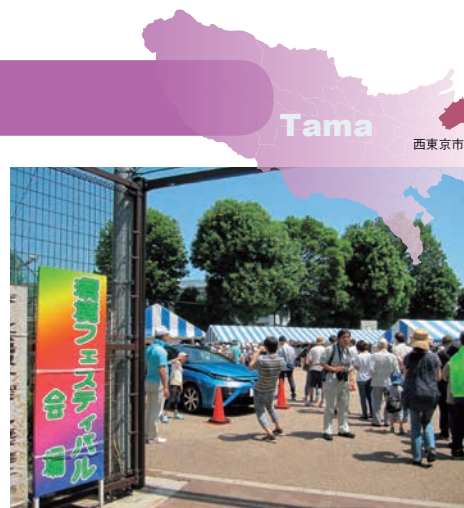
2 西東京市

環境フェスティバル

西東京市では、毎年5月の最終日曜日に、市内にある「いこいの森公園」で環境フェスティバルを開催しています。今年のイベントでは、初めて市のファームカー（野菜の移動販売車）で地場産の野菜を販売しました。また、初めてフードロスの問題を取り扱いました。

その他、0円均一（不用品リユース地域活動）の紹介、ゴーヤの苗・雑紙袋（小さな紙類を資源物として出すための袋）の配布、水素を使った燃料電池発電体験、電気自動車の展示、排気ガスの出ないセグウェイの試乗に加えて、多彩な飲食ブースの出店など、色々と楽しめるイベントになりました。

【問合せ先】西東京市環境保全課 TEL:042-438-4042



3 小笠原村

自然環境に配慮した遊歩道補修整備事業

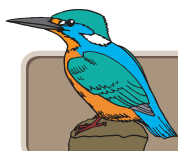
小笠原村では、美しく貴重な自然環境の保全と利用を両立させるエコツーリズムの理念に沿った、海や山でのエコツアーが定着しています。

そのような状況の中、村民が暮らしている父島と母島の山域の遊歩道の一部では、利用者の踏圧や降雨により土壌の侵食が進んでおり、自然環境の保全と利用者の安全性を確保するため、遊歩道を修繕する必要性がありました。

そこで、雨水の流れや利用者の歩行経路を考慮しながら、自然の石や木材を使用した必要最低限の施工による「近自然工法」を用いた遊歩道の整備を、村民の協力を得ながら行っています。

【問合せ先】小笠原村環境課 TEL:04998-2-3111





多摩交流センターだより

公益財団法人 東京市町村自治調査会

平成28年度

広域的市民ネットワーク活動支援制度

申請団体募集!!

～活動支援制度を活用して、広域的な市民活動を始めてみませんか?～

当調査会では、多摩地域を先導するまちづくり運動として、市町村のワクを越えて行われる市民活動がより拡大し、充実したものとなるために支援をしています。

現在、市民活動はさまざまな分野・テーマに及んでいます。特に子育て・高齢者・障がい者支援、防犯・防災活動などは、より市民の力が必要とされています。

日頃の皆さんの広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。

活動支援制度とは?

(1) 対象

- 市民活動を一つの市町村だけではなく、複数の市町村で行う活動として、新たに広域的な市民ネットワークをつくってみたい、もっと拡充したいとお考えの市民団体

(2) 助成率及び金額等

- 助成対象事業費の60%(30万円が限度)
- 助成期間は、連続する3年度の間で2回まで(ただし、1年度間で1回の支援が限度)

申請の主な要件は?

(1) 支援の対象となる団体の主な要件

- 多摩地域で広域的な市民活動をしてみたい、または、拡充したいとの意向のある団体で、支援の必要があると認められること。(※既に自立的な活動を継続して行っている団体、当調査会の助成制度・支援制度を受けた団体は対象外です。)
- 本拠地が多摩地域内にあり、活動区域が多摩地域内複数自治体内である(志向している)こと。

(2) 支援対象となる主な活動(事業)要件

- 多摩地域のまちづくりにおける広域的な課題を活動テーマとしていること。
- 多摩地域全体の市民を対象とした活動(事業)であること。
- 市民団体が主体的、創造的に取り組む活動(事業)であること。

※ その他にも申請にあたっての要件がありますので、下記の方法で制度の詳細をご確認ください。



制度の詳細は、多摩交流センターで配布している『平成28年度広域的市民ネットワーク活動支援制度【活動支援】の手引き』、または、当調査会のホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) をご覧ください。

なお、「手引き」はホームページでダウンロードすることもできます。

申請に当たっては、随時相談を受け付けていますので、お気軽にお問合せください。

問合せ先

公益財団法人 東京市町村自治調査会 事業部 企画課
東京都府中市新町2-77-1 電話042-382-7781

※ この制度は、当調査会の平成28年度予算の範囲内での実施になります。
※ 既に自立的な活動を継続して行っている団体が対象の「事業助成」制度は、11月頃に説明会を行う予定です。

多摩発・ 遠隔生涯学習講座

にご参加ください!

当調査会では、NPO法人全国生涯学習ネットワークと共催で、フォーラム（シンポジウム）の開催やインターネット放送「多摩発・遠隔生涯学習講座」の開講・発信等を実施しています。

「多摩発・遠隔生涯学習講座」は、平成28年8月に150回を迎えます。



多摩発・遠隔生涯学習講座のあゆみ

平成16年1月、「NPO法人全国生涯学習ネットワーク」及び「中央コリドー高速通信実験プロジェクト推進協議会（CCC21）」は、「NPO法人東京雑学大学」と共同して、生涯学習セミナーの開催及びその映像のインターネットによるライブ中継、並びにVOD（ビデオ・オン・デマンド）配信の社会実験を行ってきました。

平成19年度からは、新宿から多摩交流センターへ講演会場を移転したことを機に、多摩地域から多彩な情報を発信したいとの長年の思いを込めて「多摩発・遠隔生涯学習講座」と名づけて実施しています。また、平成21年度からは「NPO法人全国生涯学習ネットワーク」と当調査会が連携し、講座開催及びライブ中継を実施しています。

多摩発・遠隔生涯学習講座の紹介

この講座は多摩地域からインターネットを通じて、毎月第2木曜日に日本全国・全世界に多彩な情報を発信しています。一人ひとりが自由に、学ぶ喜びや豊かな心を育むため、各分野で活躍している方にボランティアで講演をお願いしています。講座の様子はインターネットによりライブ中継をされていて、視聴者は自宅で無料受講することができるほか、ビデオ・オン・デマンド(VOD)で好きな時・好きな場所でいつでも過去の講座を視聴することができます。

なお、平成28年8月には、以下のとおり150回目の講座開催を予定しています。

第150回のご案内

日 時	平成28年8月11日（木・祝） 14:30から約1時間
場 所	多摩交流センター（メイン会場） 武蔵野市かたらいの道（サテライト会場）
題 名	統計が語る日本の大学
講 師	大橋 秀雄 氏（東京大学・工学院大学名誉教授、工学博士）
内 容	詳細は本紙8月号（8月1日発行）をご覧ください。

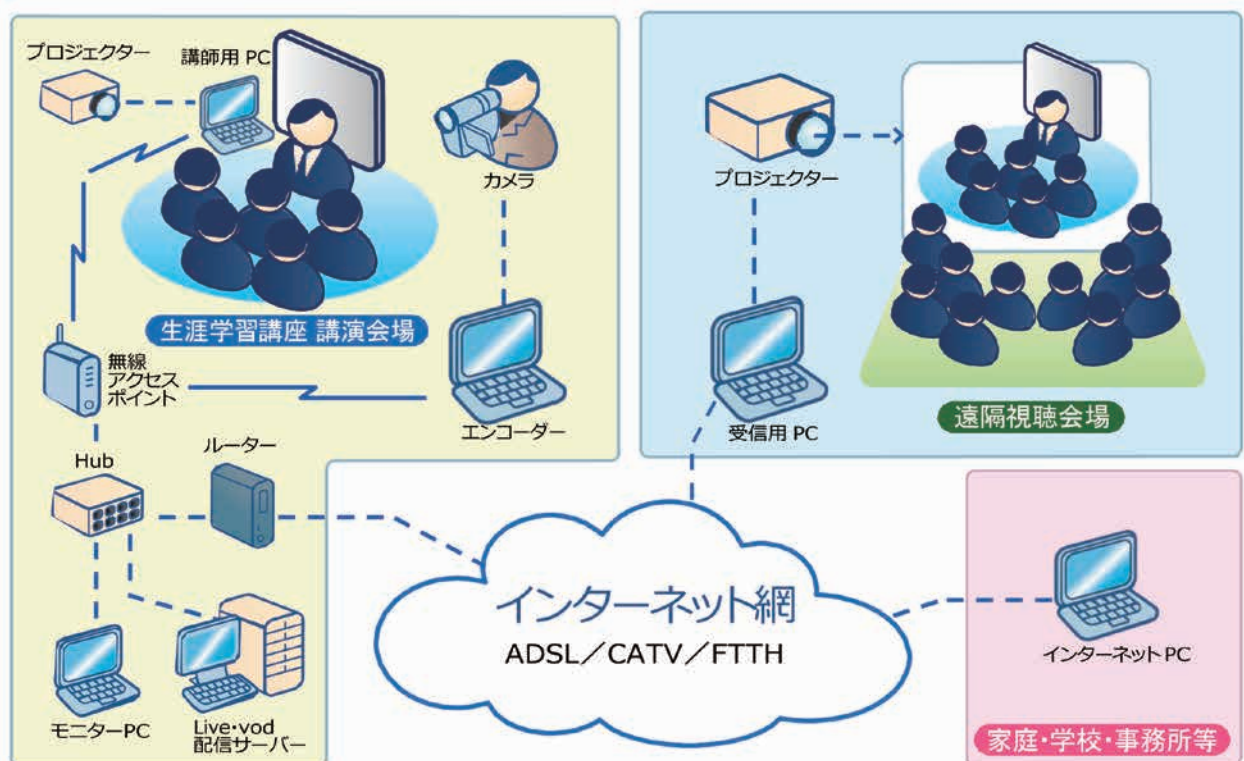
過去に開催された講座の紹介

回数	開催年月日	題名	教授
第140回	平成27年10月8日(木)	防災学入門	小川 雄二郎 氏 (防災国際ナショナル代表・元富士常葉大学教授)
第141回	平成27年11月12日(木)	日本人の主観と客観性のずれ	加藤 淳平 氏 (元外交官、元在ベルギー大使等)
第142回	平成27年12月10日(木)	改めて「生涯学習とは何か?」という問いを考える	佐々木 英和 氏 (宇都宮大学地域連携教育研究センター准教授)
第143回	平成28年1月14日(木)	候文あれこれ	愛甲 次郎 氏 (NPO法人「文語の苑」理事長、元資源エネルギー庁次長、元在クウェート大使等)
第144回	平成28年2月11日(木・祝)	声楽の魅力	田中 和男 氏 (歌手、元防衛大学校助教授)
第145回	平成28年3月10日(木)	生涯学習から見た日本の知的交流	高橋 豊 氏 (NPO法人小石川後楽園庭園保存会理事、博士(学術))
第146回	平成28年4月14日(木)	近未来社会を見つめて自分の生涯を決める首席デザイナー	高原 北雄 氏 (NPO法人全国生涯学習ネットワーク会長、航空宇宙技術研究所(現JAXA)元部長)
第147回	平成28年5月12日(木)	「しぐさ」に見る江戸町衆の生き方・考え方	上田 誠 氏 (江都町衆思草承伝会主宰)
第148回	平成28年6月9日(木)	世界各地の旅のはじまり	北村 嵩 氏 (NPO法人JAPAN NOW観光情報協会理事、元松蔭大学教授)

※上記及びそれ以前の講座については、多摩発・遠隔生涯学習講座 (<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>) より、VOD視聴することができます(一部講座を除く)。

※第149回の講座については、8ページでご紹介しています。

<多摩発・遠隔生涯学習講座 中継図>



インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

7・8月開催予定の講座案内

149回

題名

沈没船及びその積荷はどの国の物かー水中文化遺産保護条約の発想

日時 平成28年7月14日(木) 14:30から約1時間

講師 中田 達也 氏(東京海洋大学大学院准教授)

内容 昨今、歴史的に著名かつ重要な沈没船が発見されるニュースが聞かれることがある。それらの船体や積荷の帰属について、現行の水中文化遺産保護条約はどのような視点でそのことを記述しているかについて解説しながら、沈没船及びその積荷の法的保護の観点から、何が重要な論点なのかを事例をあげて説明したい。



150回

題名 統計が語る日本の大学

日時 平成28年8月11日(木・祝) 14:30から約1時間

講師 大橋 秀雄 氏(東京大学・工学院大学名誉教授、工学博士)

○受講料 無料(ただし資料代100円)

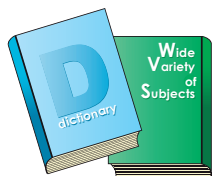
○メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)

○サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター(7月14日) 武蔵野市かたらいの道(8月11日)

○ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成28年8月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は8月11日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第1049回	8月4日(木) 14:00から	武蔵野地域の 戦争遺跡について(仮題)	牛田 守彦 氏 (武蔵野の戦争遺跡を記録する会副代表)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1050回	8月11日(木・祝) 14:30から	統計が語る日本の大学	大橋 秀雄 氏 (東京大学・工学院大学名誉教授、工学博士)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1051回	8月18日(木) 14:00から	大人の算術実学講座② 地震予知はなぜアテにならないのか (仮題)	石田 潤 氏 (理学博士)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1052回	8月25日(木) 14:00から	米国の行動原理の真相を探る	末松 義規 氏 (元衆議院議員、元外交官)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1050回は、第150回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

サマージャンボ 7億円
1等5億円、前後賞各1億円
1等・前後賞合わせて7億円

サマージャンボミニ 7000万円
7000万円×120本
(発売総額360億円・120ユニットの場合)

7月6日(水) 同時発売
発売期間：7月6日(水)～7月29日(金) 抽せん日：8月9日(火)

2016年市町村振興宝くじ 公益財団法人 東京都区市町村振興協会
この宝くじの収益金は区市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

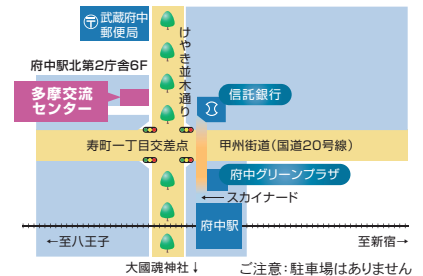
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 隔年で開催される島のイベント「東京愛らんどフェア島じまん2016」が、今年も竹芝桟橋で開催され大盛況でした。島じまんに来場された方々は、各島のグルメを堪能し、様々な特産品をお土産に購入していました。
イベントの詳細は、本文3ページをご覧ください。
- 恒例になりました、ぐるり39の表紙と最終面の「とっておきスポット」は、夏季には東京の島しょ町村を紹介し、美しい島の景色が紙面を飾ります。
是非、夏休みの旅行の候補地のひとつに加えてみてはいかがでしょうか。
- 本当に美しい姿を見せてくれる東京の島々ですが、厳しい自然環境の中にあり、時として、災害に見舞われることもありました。これまで火山噴火や地震、風水害による土砂崩壊など様々な災害がありました。その度に全国から温かい支援が寄せられ、復興が進むとともに、より安全な島づくりへの対策が講じられて今日に至っています。
- 思いがけない危機は、日本全国に等しく起こり得ることを、今回の熊本地震が教えてくれました。熊本は地震災害とは縁の薄かった地域でした。

- 近年、これまでは認知されていなかった異常な地象、気象による災害が次々と各地で発生し、自然災害の脅威がどこにでも存在することが周知のこととなったと思われます。
- そんな脅威へ、人間がささやかに対抗する手段のひとつとして大切なことが、『お互い様・助け合いの精神』です。今回の地震でも多くの支援物資や義援金が集まり、ボランティア活動が行われています。
- また、全国の自治体による被災地支援活動も早くから取り組まれ、東京の市町村からも多数の職員が派遣されました。なかには職員数が数十人という小規模な多摩・島しょの町村からも職員が被災地に赴きました。復興途中の東北地方の自治体からも、震災の経験を活かしてほしいと多くの職員が支援活動に従事しました。
- ボランティアや支援の活動体験は、いつの日か自らの身を助ける力にもなります。あまり考えたくはありませんが、いつ災害で支援を受ける立場になるかもしれません。
本来の意味と正反対に理解している方も多いようですが、「情けは人のためならず」の言葉の意味をかみしめたいと思います！
(M.N)



とっておきスポット

第22回 神津島村

“ココ”
ご存じ
ですか?

神津島村といえば、表紙の赤崎遊歩道を連想するかもしれないけど、
今回はわたげのボクが「めいし遊歩道」を紹介するよ。



めいし展望台

めいし遊歩道は、温泉保養センターから岬をひとつ越えた所にあるんだよ。入り組んだ海岸線と島から広がる森が混じり合う場所で、海と森林の美しいコラボレーションを見ることができるんだ。

めいし展望台は、潮風に乗ってくる波の音と鳥のさえずりを聞きながら、松並木を少し歩いたところにあるよ。展望台の階段を上りきると、一人用の椅子が設置されていて、どこまでも伸びる水平線と砂浜の美しい景色を独り占めできるんだ。

ぶっとおし岩

めいし遊歩道から歩いてすぐ、長浜海岸の端には、ぶっとおし岩があるよ。想いを“ぶっとおす”（貫く）にかけて、ここでお願い事をすると願いが叶えられると言われてるんだって。松が生えた雰囲気のある大きな岩で、そこに開いた大きな穴を歩いて通ることができるんだ。

天然のトンネルを抜けるとそこは不思議な世界。波によって作り出された滑らかな岩肌の広間が広がり、干潮時には岩の天然ソファに座る事ができるよ。近くには休憩用の椅子やテーブルも設置されてるんだ。みなさんもぜひ、ふわっと行って見て！



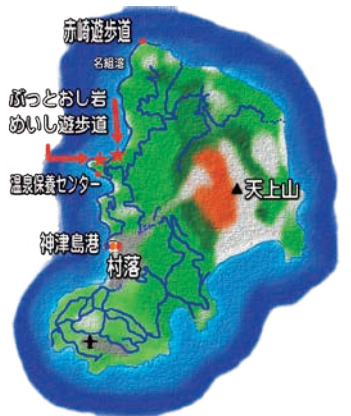
【現地案内】

◎神津島へのアクセス

- 《航路》竹芝棧橋から高速ジェット船で約3時間40分、大型客船で約12時間
- 《空路》調布飛行場から約45分

◎めいし遊歩道へのアクセス

- ・村落から車で10分
- ・バス停「温泉保養センター」から徒歩6分
- ・神津島港より徒歩40分
- ・駐車場、トイレあり



【情報・写真提供】 神津島村産業観光課 TEL 04992-8-0011 (代表)

【発行日】平成28年7月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。